| 学校番号 | １０１２ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | アジア研究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インド、フィリピン、タイ、マレーシアなどアジアの国々の歴史や文化と、
「難民」、「貧困」、「ストリートチルドレン」、「観光問題」など、の諸問題について一緒に学びましょう。１学期に１回は発表などのパフォーマンス課題を実施しています。

2　学習の到達目標

・アジアの文化・歴史・生活について理解し、それが私たちの暮らしとどのようにかかわっているかについての関心を高める。
- 私たちの便利な生活とそれを生産する人々の間にどのような課題があるか考察し、論拠をもとに自分の考えを説明できるようになる。また、その課題の解決方法を探求する。
- アジアの人々が抱える問題を、自分事としてとらえ、より良い世界を作っていくために何ができるか、自分の言葉で語れるようになる。また、行動できる力をつける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・アジアの国々の地理、歴史、文化などについての基礎知識を理解する。<br>・「難民」「貧困」「児童労働」「ストリートチルドレン」「観光」などのテーマごとにその原因、課題、対策について理解する。 | ・公正な世界の形成へ主体的に参画し、共に生きる社会を築くために、どのような課題があるかを見出すことができる。<br>・その課題の解決に向けて、事実をもとに考察し、論拠をもとに自分の考えを説明、論述できる。 | 公正な社会の実現を視野に，現 代の諸課題を自分事としてとらえ、主体的に解決し ようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 難民 | ・難民とは<br>・難民発生国の現状<br>・難民の暮らし<br>・日本で暮らす難民 | a:難民の定義について理解する。<br>実際の難民家族を取り上げ、どのような暮らしをしているかビデオ視聴を通して知る。日本の難民受け入れ状況、日本で暮らす難民が抱える課題について知る。<br>b:難民発生国について、その原因、現状、対策について、考察し、自分の言葉で表現する。<br>c:難民問題の解決のために何が必要か、主体的に探究し、課題を見出している。 | 定期考査<br>授業プリント | 定期考査<br>振り返り(記述) | レポート<br>課題<br>発表 |
| | ストリートチルドレン・児童労働 | ・ストリートチルドレンとは<br>・ストリートチルドレンの現状<br>・児童労働とは<br>・児童労働の現状について | a: ストリートチルドレンの存在について理解する。ストリートチルドレンの暮らしを取り上げ、どのような暮らしをしているかビデオ視聴を通して知る。また、国によって状況が異なっていることを知る。<br>b:ストリートチルドレンについて、その原因、現状、対策について、考察し、自分の言葉で表現する。ストリートチルドレンを含め、児童労働にはどのような課題があるのか、考察し、自分の言葉で表現する。<br>c:ストリートチルドレン、児童労働の解決のために何が必要か、主体的に探究し、課題を見出している。 | 定期考査<br>授業プリント | 定期考査<br>振り返り(記述) | レポート<br>課題<br>発表 |
| 2 | 食べ物を通して世界とのつながりを知る。 | ・「コーヒー」「チョコレート」「パームオイル」「ダイヤモンド」などの食品や商品を通して、その課題と自分たちの生活とのつながりについて知る。<br>・フェアトレードの利点・課題について考察する。<br>・子ども兵士について知る。 | a:「コーヒー」「チョコレート」「パームオイル」「ダイヤモンド」などの食品・商品について、それを栽培（採取）するためにどのような問題が起こっているかを理解する。<br>b:上記の食品、商品について、その原因、現状、自分たちの生活とのつながり、対策について、考察し、自分の言葉で表現する。また、フェアトレードのメリットデメリットについて考察する。<br>c:様々な食品や商品を通して、持続可能な社会を作るために何が必要か、主体的に探究し、課題を見出している。 | 定期考査<br>授業プリント | 定期考査<br>振り返り(記述) | レポート<br>課題<br>発表 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | インド、フィリピン・マレーシアについて | ・インドの歴史、文化課題を知る<br>・フィリピンの歴史、文化・課題について知る<br>・マレーシアの歴史、文化、課題について知る。 | a:インド・フィリピン、マレーシアの歴史、文化についての基礎知識を理解する。3 つの国の異なった宗教とそれにかかわる生活の違いについて知る。<br>b:インド発展の理由について考察し、自分の言葉で説明する。フィリピンのスモーキーマウンテンを通して、貧困問題とその解決について考察する。マレーシアに関しては、森林伐採と日本とのつながりについて考察する。<br>c: 多文化理解を通して、他国の文化を尊重し、貧困、格差のない社会を作るために何が必要か、主体的に探究し、課題を見出している。 | 定期考査<br>授業プリント | 定期考査<br>振り返り（記述） | レポート<br>課題<br>発表 |
| 3 | タイ・観光・・カンボジアについて | ・タイの歴史、文化、課題について知る<br>観光のメリット・デメリットについて知る<br>・オーバーツーリズム・エコツーリズムなど観光をめぐる問題や新しい動きについて知る。<br>・カンボジアの歴史、文化、課題について知る。 | a:タイ・カンボジアの歴史、文化についての基礎知識を理解する。２つの国の宗教と生活の違いについて知る。<br>b:タイの観光問題を通して、観光によって引き起こされる課題について考察し、望ましい観光についての自分の意見を表現する。<br>c: 多文化理解を通して、他国の文化を尊重し、持続可能な社会を作るために何が必要か、自分たちに何ができるのか、主体的に探究し、課題を見出している。 | 定期考査<br>授業プリント | 定期考査<br>振り返り（記述） | レポート<br>課題<br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度